

[標準様式例7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	関東管内の効率的な物流ネットワークの強化に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、国際競争力強化の観点から機能強化が必要である国際海上コンテナの輸送に着目し、都心部の通行支障の実態や管内の空港、港湾、鉄道等の物流拠点や内陸の工業団地等へのアクセスの実態を把握、物流の障害となる要因等を抽出し、効率的な物流ネットワークの強化について検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 森北 佳昭 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成25年6月11日
契 約 業 者 名	(一財)国土技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区虎ノ門3-12-1
契 約 金 額	¥15,088,500円(税込み)
予 定 価 格	¥15,088,500円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するに当たっては、高度な技術力や知識、豊富な経験が必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 一般財団法人国土技術研究センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 (自)	平成25年6月12日
履 行 期 間 (至)	平成26年2月28日
備 考	会計法29条の3第4号 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。